

学術書研究会へのお誘い

社会学研究室にて、社会学専攻の学生主催による学術書研究会を行っています。この学術書研究会は社会学会の公認組織です。2019年11月に活動をはじめ、メンバーはまだ数名ですが意欲的に活動しています。エミール・デュルケム、マックス・ヴェーバーをはじめ、偉大な科学者たちの書籍を読むことでその思考の枠組みと格闘し、また、学生同士で討論し考察を深めることにより、あらたな知見を得ることを目的としています。研究会は学生メインで行い、必要があれば教授や大学院生の方にも参加していただいています。

活動記録:

2019年11月～2020年3月:

エミール・デュルケム『宗教生活の原初形態(上)』

2020年4月～2020年7月:

エミール・デュルケム『宗教生活の原初形態(下)』

2020年8月～2020年9月:

マックス・ヴェーバー『宗教社会学論選』

2020年10月～2020年11月:

マックス・ヴェーバー『社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」』

2020年12月～2021年1月:

アーヴィング・ゴッフマン『スティグマの社会学』

2021年2月～2021年4月:

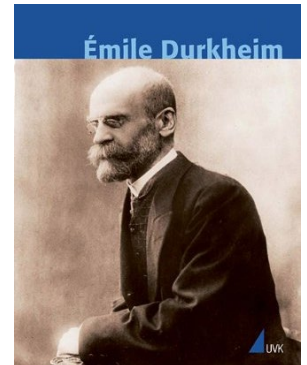
ニクラス・ルーマン『信頼』

2021年5月～2021年7月:

ピエール・ブルデュー／ジャン・クロード・パスロン『再生産〔教育・社会・文化〕』

2021年8月～2021年9月:

ゲオルグ・ジンメル『ジンメル・コレクション』



場所は、通常であれば3号館9階社会学共同研究室にて行っています。現在はZoomを用いて開催しています。開催日時に関しては、メンバーが数名のため、現段階では相談の後決定しています。開催頻度は月に3～4回です。また、参加条件として学年・専攻は問いません。参加をご希望の方や質問などがある方は、以下の連絡先をお願いします。

代表 社会学専攻3年41組 大谷鈴菜

a19.np5c@g.chuo-u.ac.jp

中央大学社会学会(社会学研究室内)